学校番号	3027

令和８年度　教育文理科

教科	教育文理	科目	ICT ワークショップ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・生徒の実情に合わせ、様々な社会の問題を理科・数学・情報の教科から多角的な視点で捉えることができるように育成する。
・大学の講義や施設見学などを通して、必要な数学的思考や科学的技術の育成を行う。
・授業では、扱うことができなかった数学・情報の単元を生徒自ら探究し、理解を深める。
・身近な問題を提起し、解決策となるコンテンツを提案することで ICT 活用方法についてさらに学ぶ。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
ＩＣＴ活用能力をワークショップ形式で実践することによって、これまで授業で学んだ内容をよりよく伝え、教えることができる知識や技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
ＩＣＴ活用能力を理科・数学・情報の科目に活用することで、個に応じた情報や技術の伝え方があることを理解し、適切な対応ができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
学校や地域の一員として課題の解決に向けて、実習や活動に主体的・協働的に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	科学的知識、ＩＣＴ活用能力、をワークショップ形式で実践することによって、これまで授業で学習した理科・数学・情報の内容をよりよく伝えることができる知識や技能を身に付ける。	科学的思考、ＩＣＴ活用能力をワークショップ形形式で実践することによって、個に応じた情報や技術の伝え方があることを理解し、適切な対応ができるようになる。	自分の進路と結び付け、学校や地域の一員として課題の解決に向けて、実習や活動に主体的・協働的に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
	理科	課題探究	a:課題の対象や範囲、状態、などをよく調べ、整理している。 b:課題の解決策を具体的にまとめている。 c:課題を提起し、解決策を提案しようとしている。	レポート	レポート	レポート 観察
		課題解決	a:解決策を、よく吟味し、1つの形にまとめ、整理している。 b:提案する解決策が、提案対象者に伝わりやすいものである。 c:解決策のコンテンツ化や対象に合う形で提案しようとしている。	レポート	レポート	振り返りシート
		発表	a:聴衆にわかりやすい資料を作成している。 b:聴衆が興味・関心を持つ発表をすることができている。 c:聴衆に伝わりやすい資料と発表のために　様々な工夫をしている。	発表資料	発表	振り返りシート
	数学	課題探究	a:課題の対象や範囲、状態、などをよく調べ、整理している。 b:課題の解決策を具体的にまとめている。 c:課題を提起し、解決策を提案しようとしている。	レポート	レポート	レポート 観察
		課題解決	a:解決策を、よく吟味し、1つの形にまとめ、整理している。 b:提案する解決策が、提案対象者に伝わりやすいものである。 c:解決策のコンテンツ化や対象に合う形で提案しようとしている。	レポート	レポート	振り返りシート
		発表	a:聴衆にわかりやすい資料を作成している。 b:聴衆が興味・関心を持つ発表をすることができている。 c:聴衆に伝わりやすい資料と発表のために　様々な工夫をしている。	発表資料	発表	振り返りシート

	情報	課題探究	a:課題の対象や範囲、状態、などをよく調べ、整理している。 b:課題の解決策を具体的にまとめている。 c:課題を提起し、解決策を提案しようとしている。	レポート	レポート	レポート 観察
		課題解決	a:解決策を、よく吟味し、1つの形にまとめ、整理している。 b:提案する解決策が、提案対象者に伝わりやすいものである。 c:解決策のコンテンツ化や対象に合う形で提案しようとしている。	レポート	レポート	振り返りシート
		発表	a:聴衆にわかりやすい資料を作成している。 b:聴衆が興味・関心を持つ発表をすることができている。 c:聴衆に伝わりやすい資料と発表のために　様々な工夫をしている。	発表資料	発表	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度